


1. 統一英語点字（UEB）利用のための指導者研修およびシステムの普及
ならびにフィリピン国立盲学校（PNSB）在籍者で貧困状態にある学生への
1年間の教育支援

(1) 活動報告（概要）

		助成元	日本社会福祉弘済会
国名	フィリピン	団体名	Philippine Registry of Interpreters For the Deaf, Inc. (フィリピン手話通訳者協会)
責任者	Ms. Ma. Corazon S. Tensuan	担当 修了生	エレン（7期） (Elena B. Rances-Carino)
事業名	1) 統一英語点字（UEB）利用のための指導者研修およびシステムの普及 2) フィリピン国立盲学校（PNSB）在籍者で貧困状態にある学生への 1年間の教育支援		
活動地			
活動報告（目的・内容、成果など）			
<p>1. 支援対象</p> <p>①PNSB の学生、特別支援学校の教師、フィリピン全土の視覚障害のある学生 ②社会的に恵まれない状況にある視覚障害のある学生 10 名を選考して実施 助成金額 30万円</p>			

2. 目的・実施理由

- a) PNSB の教師全員向け UEB 利用のためのセミナー・ワークショップの実施
- b) PNSB ならびにフィリピン全土に UEB システムを定着させる
- c) フィリピンで視覚障害者に教育を行っている者、ならびに視覚障害者自身が、すでに UEB システムを使って読み書きを行っている他の国と同等にする
- d) 経済的に不安定であるため、通学費用の捻出が困難である貧困家庭の視覚障害のある学生に交通費等を支給する
- e) 視覚障害のある学生の経済的な理由による退学を減らす
- f) 貧困であるがために教育を受けられない視覚障害児がいない社会を作るという本会の方針を貫く

3. 実施内容

【実施期間】2016年6月～2017年3月

①PNSB スタッフのためのセミナー・ワークショップ実施

UEB の使い方に関するスタッフのトレーニングとして、2つの研修を実施した。

第1回 2016年5月30日/31日～2016年6月3日

第2回 2016年10月24日～28日

UEB の使い方に関するセミナー・ワークショップは、この分野のスペシャリストである他組織（団体）からの演者、講師により実施した。

基本方針（原則）と一般的なルールについて指導を行い、すべての参加者には点字の読み書きをするための資料を配布し、それぞれの講義後、進捗状況を確認するための評価を行った。

すべての講義において、それぞれの受講者たちが確実に UEB を理解し習得できるよう、徹底的に議論がつくした。

現在、研修を受けたスタッフたちは、学校内で UEB の制度化を始めている。

その結果、生徒たちの両親や学生を支援するガイドのための3つのクラスがすでに組織化されている。

進みの早い受講者は、2017年1月20日～23日に、タイのバンコクで開催される、点字の読み書き競技会参加に備え、特別な研修を受けた。

②視覚障害のある選抜された10名の学生へ通学手当の支給

(2016年6月～2017年3

月)

10名の学生は年収60,000フィリピンペソ以下の家庭の子どもたちから選

考した。この 10 名は支援なしでは退学のリスクを抱えていた子どもである。

4. 成果

- a) 通学のための交通費助成を受けた 10 名の学生は、昨年と比べ、出席率の改善が見られた。
- b) 第一ならびに第二四半期の出席率が改善されたことにより、この 10 名の学生は著しく成績が向上した。
- c) PNSB のスタッフは、教授方法に UEB を活用できるほどに UEB につき、深く、完全に理解している。
- d) この集中トレーニングを通し、スタッフは、視覚障害のある学習者の教育水準を改善するために国際的に使用されている点字の読み書きルールに関して、昨今の傾向に対応できるようになっている。
- e) 教育者のスキルの向上は、学習者を増やすことになり、また彼らを世界にも通用するものにしている。

5. 今後の展望

21 世紀という時代は、障害のある人たちへの教育について、彼らが自身の可能性を最大限発揮できるよう、必要な支援を提供することを強く求めている。本事業のような研修は、このような前向きな教育方針に合致しており時宜にかなっている。

このような研修を継続していくことで、教育者たちが社会を変え、また教育を受けた者たちの知識・技術を向上させることになる。

今後も全社協の支援を希望する。